

佐渡ヶ島「Sea級グルメ全国大会」！ 艦艇広報で自衛隊をPR！



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）と佐渡駐在員事務所（所長 准空尉 渡部道晴）は、10月19日（土）及び20日（日）に「Sea級グルメ全国大会 in 佐渡」に伴うミサイル艇「うみたか」の両津港艦艇広報を実施しました。

Sea級グルメ全国大会は、日本全国の「みなとオアシス」で水揚げされた海産物を用いてつくられた自慢のグルメが大集合し、投票によりNo.1を決定する年に1度のイベントで、新潟県（佐渡ヶ島）での開催は初めてであり、2日間で佐渡島民の約3割にあたる15,000人の来場者が訪れました。

艦艇広報初日は入港歓迎セレモニーが行われ、主催者挨拶を始め艇長へ花束贈呈等が行われました。



2日目は見事な秋晴れとなり、一般公開の来場者は県内外から多くの方が訪れました。来場者は普段乗ることができないミサイル艇で、乗組員から装備品のミサイルが目視できない遠く離れた敵艦に高確率で命中するという説明を聞き非常に驚いた様子でした。また、乗組員と艦橋等で記念撮影をするなどして楽しみ、大勢の乗艦者で大盛況となりました。



岸壁では佐渡駐在員事務所が広報ブースを設けたほか、空自佐渡分屯基地第46警戒隊による車両及び防弾チョッキ等装備品展示にも多くの来場者が訪れました。

佐渡所駐在員事務所員は訪れた多くの募集対象者に対し陸・海・空自衛隊の任務や職種についての説明をし、自衛隊をPRするとともに、佐渡島民に対しても自衛隊への理解を深めることができました。



新潟地本は、離島における募集広報活動での成果を期待するとともに自衛隊をPRし、より多くの志願者を募っていきます。